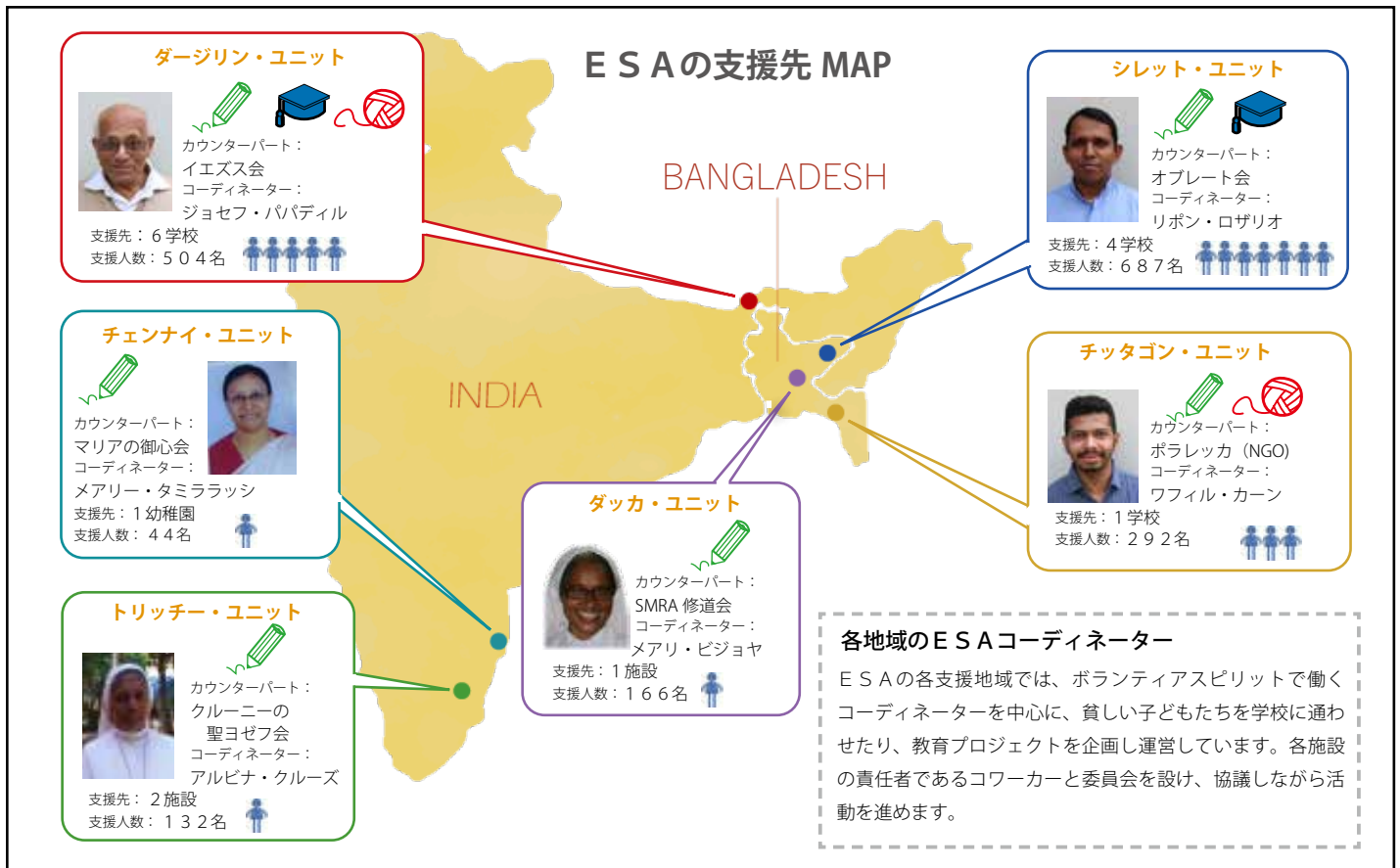


教育支援事業

E S Aは『教育』こそ人間の尊厳を守り、貧困と差別を克服する大きな力と考え、一人でも多くの子どもが教育を受けられるように活動しています。主に、基礎教育、指導者育成、職業訓練の3つの支援を教育支援事業としてバングラデシュ、インドの2カ国、6つの地域（ユニット）において行っています。2019年度は合計1,825名の子ども、学生に対し教育支援を実施し、教育支援費の総額は14,076,963円でした。



E S Aの支援 – 3つの柱–



指導者育成支援

発展途上国において、基礎教育を普及させ、質を向上させるのに不可欠な優秀で柔軟な考えを持つ教師、リーダーの不足は深刻な問題です。この課題を解決するために、E S Aは社会のリーダーとなる人材の養成、教育を支援しています。



基礎教育支援

子どもたちが、自分でものごとを考え、行動するには、「読み、書き、計算」という最低限の知識と技能が必要です。社会的事情や家庭の経済的理由で教育を受けられない子どもに対して、日本の小学校、さらに中学、高等学校に相当する基礎教育を提供しています。



職業訓練支援および地域の生活向上のための教育支援

基礎教育を修了した者や中途退学した人々に対し、自立した生活が送れるよう、職業訓練、生活改善活動を支援しています。

食事と栄養管理



入学キット・制服の支給



授業の提供、教師の採用と研修



寮の生活



地域の活性化



ESAの支援フィールド

茶農園の村の子どもたち



過酷な労働者の生活から脱却するための教育

170年前の植民地時代からダージリンやシレット等の紅茶農園では、低賃金、重労働の過酷な条件のもとで働く何十万人のひとがいます。彼らは貧困のため栄養状態も悪く、また民族の違いから差別を受け厳しい生活を送っています。

■ESA支援先：8校

バングラデシュ・シレット：

🏠カラゲール小学校 🏠ムングラ小学校
🏠ゴワバリ小学校 🏠ロキプール中学校

インド・ダージリン：

🏠マイケル校 🏠ロパーツ校
🏠テレサ校 🏠メリー校

極貧の村の子どもたち



何もない生活に光を注ぐ教育

村人の8割以上が所有の土地を持たず日雇いで細々と生活しています。カーブ制度がまだ残る地域では身分差別が色濃く残り、子どもが誰でも通える学校がない地域も少なくありません。

■ESA支援先：2校、2施設

バングラデシュ・チッタゴン：

🏠ジョナキ小学校

インド・トリッシー：

🏠セント・ジョセフ子どもの家

🏠アンナイ子どもの家

インド・ダージリン：

🏠ノートルダム校(スンブク、カインジャリア)

大都会のスラムの子どもたち



都会で困窮する子どもを救う教育

希望のない地方の貧困生活から逃れ、仕事と夢を求めて都市に移り住む人々は、技術を習得していないため仕事を見つけることもできず、さらなる貧困に陥っています。その犠牲となるのが幼い子どもたちです。

■ESA支援先：1校、1施設

バングラデシュ・ダッカ：

🏠ボトムリー・ホーム

インド・チェンナイ：

🏠ニルマラニラヤム幼稚園

生活向上プロジェクト

支援額： ¥193,608

「教育を受けた卒業生や保護者の収入を増やすことで自立への道を開かせたい」との願いから始まった生活向上プロジェクト。2019年はバングラデシュ・チッタゴンのジョナキ小学校周辺に住む女性たちを対象にした染色・縫製指導とインド・ダージリンのノートルダム2校の保護者を対象にした家畜飼育の2プログラムが実施されました。チッタゴンでは仕上がった商品を地域の人に販売できるようになっています。また家畜飼育プログラムでは、子牛や子ヤギを大きく育てて売り、収入を得ることができました。2019年は40人の保護者がプロジェクトに参加し、貸付金を返済するとともに、子どもたちの教育費の一部を納めました。このプログラムでは、親が子どもに対して責任を持てるように意識改革の目的も担っています。今後は自主運営を目指し、参加者に一部経費負担も検討しています。



教師トレーニング

支援額： ¥386,793

「より良い教育を子どもたちに」を目指して、2012年からバングラデシュで開始した教師トレーニング。改訂された教育内容の把握、子どもたちへの指導方法や教師自身の意識向上のためのプログラムなどを、バングラデシュの5つの学校を対象に実施しました。都市部の学校に負けない質の高い教育を子どもたちに提供できるよう、教師たちも自己研鑽に努めています。



上級生支援

支援額： ¥317,448

インド・ダージリンでは神学生の他に、高校卒業まで支援を受けた子どもの中から、優秀で志は高いけれど家族の収入では大学に通うことのできない生徒4名に支援を行っています。医学、看護学、教育学などを専攻し、それぞれの夢に向かって歩んでいます。

バングラデシュ・ダッカでは、バングラデシュ各地から集まってきた孤児150人が生活しながら学校に通っているボトムリーホームの上級生支援を行っています。10年生で退寮しますが、その後の勉学の道も開かれるように、と3年前から上級生支援を開始しました。第1期生5人が高校を卒業し、3人が看護師に、2人がシスターへの道に進むことができました。JuiとSweetie（右写真）は看護学校への進学が決まり、これまで自分たちが受けた支援に恩返ししたいとホームで後輩たちの指導にもあたっています。「将来、病気で苦しんでいる人のために精一杯働きたいです。」と夢を語っています。



給食プロジェクト「Happy Plate」



支援額： ¥2,590,774



含：大阪コミュニティ「がっこう基金」助成事業

Happy Plate

ESA給食プロジェクト

家で食事が食べられずおなかをすかせて学校に来る子どもは、勉強する気力がなかったり、イライラして集中できなかったり、力を発揮できません。ESAは2019年度はバングラデシュ4校とダージリンの2校で学校給食を提供しました。また医師による健康診断も行い、多くの子どもたちが学校を欠席せずに毎日学校に通うことができました。



手作り教材プロジェクト



教育環境整備事業

色とりどりの絵本や教材が海を渡って子どもたちの手に！

支援額： ¥1,406,046

含：積水ハウスマッチングプログラム、真如苑助成事業（ゾウさん文庫プロジェクト）

教育熱が高まるバングラデシュやインド。教育水準が上昇し、試験にパスすることが勉強の最大の目的になっており、暗記教育が主流です。ESAは、子どもたちが試験目的の勉強だけでなく、もっと広い視野をもって可能性を追求してほしいと、手作り教材で子どもたちを応援しています。現地の子どもの苦手科目の「算数」や「英語」がもっと楽しくなるように、「翻訳絵本」を通して自分たちの知らない世界にも目を向けられるように…。日本のたくさんのボランティアの方々の愛情こもった教材総計900冊を子どもたちに届けました。



教育環境整備事業

E S Aの教育環境整備事業は、教育の質を高めるための環境整備であり、多くの皆様のご寄付によって賄われています。1997年にインド、ダージリンの紅茶農園にセント・メリー小学校を建設したのが最初の事業で、その後、南インドのセント・ジョセフ子どもの家の建設、バングラデシュでのジョナキ、ムングラ、カラゲール、そしてゴワバリ小学校の建設と18年間で6つの学校と2つの子どもの家を建設しました。E S Aでは単に建物を建てるだけではなく、教育の場としての環境整備、維持管理を継続的に行っています。

ジョナキ小学校

緊急 井戸工事 支援額： ¥341,891
株式会社 MIB からの資金提供

7月にジョナキ小学校から学校の井戸から水が汲めなくなり、猛暑の中長い道のりを歩いて通学してくる子どもたちに飲料水が提供できない、と悲鳴が上がりました。バングラデシュの各地で地下水量が減少したのが原因でした。早速 MIB 社が支援の手を差し伸べてくださり、地下深く井戸を掘り直すことができ、1ヶ月ぶりに学校に水が戻ってきました。

Chittagong/BANGLADESH



校舎修繕

支援額： ¥233,573

建設から17年目の校舎は定期的にペンキを塗り替えたり、雨や日差しをよける軒を付け替える修繕を行います。くすんでいた壁がすっかり明るくなり、子どもたちの気分も上がります。

ソーラーパネル維持費

支援額： ¥26,600

学校には電気が通ってはいませんが、高額な電気代を助けているのが6年ほど前に屋上に設置した太陽光発電です。定期的に電池の交換をすることで教室の照明や扇風機を動かすため常に安定した電力を供給できます。



トイレ・更衣室の建設

支援額： ¥884,211

株式会社 MIB からの資金提供

4月から8月の長い雨季の大雨のため、一階のトイレが浸水してしまう事態が近年たびたび発生したため感染症の危険がありました。そこで、校舎の隣のスペースに地上から1mほどかさ上げした新しいトイレと女子教員のための更衣室の建設を行っていましたが、COVID-19の感染防止のため交通手段が途絶え、現在は中断しています。



カラゲール小学校

学校改修、ペンキ塗り替え

支援額： ¥476,007

5年ぶりに井戸や貯水槽の修理、そして屋根や柱の修理、外壁もペンキを塗り替えてすっきりきれいになりました。



Sylhet/BANGLADESH



ムングラ小学校

土留め工事 支援額： ¥586,853

小高い丘の上に立つ2003年完成のムングラ小学校は、大雨のたびに土砂の流出に悩まされていました。6年前には急傾斜の前面に土台補強と外壁の建設を行いました。今回は校舎の裏側周囲の土台補強と外壁工事を実施しました。これにより土台の浸食を防ぐことができ安心して長い雨季でも子どもたちは勉強をすることができます。



普及啓発事業および国内活動

オリジナルスパイスミックス販売

スパイスと紅茶 18,900 個お買い上げいただき、332 人分の教育支援になりました！

Spice for Happiness 美味しいカレーを作って、食べて、教育支援になる E S A スパイスミックス。この売上は E S A の活動を支える柱になりつつあり、2019 年度は 853 万円の売上となりました。

① Thank you for joining 「esa のカレーまつり」(6月28日 @ SUMIRE STUDIO 開催)

E S A スパイスを使った手作り料理をたっぷり楽しんでいただこうと企画した「esa のカレーまつり」にはランチ&ディナーに 60 人が参加、収益は給食支援プロジェクト Happy Plate に使わせていただきました。

② Thank you for “スパイスの作り手” ボランティアの皆様

スパイスボランティアは現在 22 人。曜日ごとチームを組んで丁寧にスパイスの袋詰めを行っています。2019 年は企業様単位での週末ボランティアも計 5 回実施しました。

東京都公式動画チャンネル「東京動画 トトトトーキョー」で簡単に参加できるボランティア（#ちょいボラ）として紹介されました。



③ Thank you for 販売ボランティアの皆様

スパイスはオンラインでも販売していますが、企業での社内販売会、学校や教会でのバザー、各種イベントでの販売、またショップでの委託販売で多くの方にご購入いただきました。(敬称略)

販売会開催企業体：アクセンチュア株式会社、ギャップジャパン株式会社、株式会社ジェーシービー、株式会社東芝、株式会社フジテレビジョン、株式会社ポニーキャニオン、住友生命保険相互会社、大和ハウス工業株式会社、日本メトロニック株式会社、三井ダイレクト損害保険株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、リコー社会貢献クラブ・FreeWill、リフィニティブ・ジャパン株式会社
委託販売ショップ：安曇野ハーブスクエア、tetentoten、せたがや縁側カフェ、AND shop、タマガワグリーンマーケット



手作り教材プロジェクト

子どもたちの手に素敵な手作り教材を届けることができました！

「ゾウさん文庫」プロジェクト翻訳絵本 300 冊

英語教材 ABC Book 300 冊 算数教材 ベンガル数字表 300 冊

団体や個人でお申込みくださった大勢の方が、この教材作りにボランティアとして参加していただきました。(敬称略)

助成団体：真如苑 積水ハウスマッチングプログラム (共に「ゾウさん文庫」への助成)

協力団体：アステラス製薬株式会社、SCSK 株式会社、オムロンフィールドエンジニアリング株式会社、株式会社ジェーシービー、ジャトコエンジニアリング株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ、日鉄エンジニアリング株式会社、日本メトロニック株式会社、三菱商事株式会社、森乳スマイル倶楽部、ユービーエス・ジャパン株式会社、リコー社会貢献クラブ・FreeWill、市川市立大野小学校児童一同

スタディーツアーの実施 (積水ハウスマッチングプログラム助成)

9 月にバングラデシュ、11 月に南インドへのスタディーツアーを実施し、現地の子どもたちに絵本の世界を広げるプログラムを行いました。紙芝居やペーパーサート、演劇など、子どもたちはさまざまな仕掛けに引き込まれるように物語を楽しみました。



国内活動トピック

・ Sparkling Joy! E S A のクリスマス会

12 月 14 日に聖アンデレ教会ホールにてクリスマス会を開催。ユースメンバーによる 9 月のスタディ



ツアーの報告会と美味しい食事を囲みながらの楽しいパーティー。最後は支援先の子どもたちに思いを寄せ世界の平和を願

いました。

・ TV 初放映！

ゼビオグループのご協力で、D life (BS258) 「クロスオーバー」番組内のインフォーマーシャルで E S A の活動をご紹介いただきました。

・ 講師派遣

狛江市立保育園 6 園、私立小学校、公私立中等高等学校で国際理解推進のための講話を実施しました。

・ 学生ボランティアの受入と E S A コースの活動 - 「知るは世界を一つにする」夏体験ボランティアを中心に学生ボラン

ティアを受け入れました。夏ボラなどをきっかけに E S A に興味を持った学生たちが集まった E S A コースチームのボランティア活動も活発に行われました。

・ 情報発信

年 3 回の JOY 発行、SNS での情報発信やウェブ募金など、色々なツールを利用して活動情報を発信しました。

・ チャリティイベント

Champs de Fleurs のフラワーワークショップ、カンタドミノ、Filles du Sacre Coeur、ハワイアン桜友会の皆様によるチャリティーコンサートを開催していただきました。